

# 自家消費型太陽光発電のご案内

企業ブランド力強化、売り上げの拡大、コスト削減  
再エネの導入がビジネス拡大の必須条件！

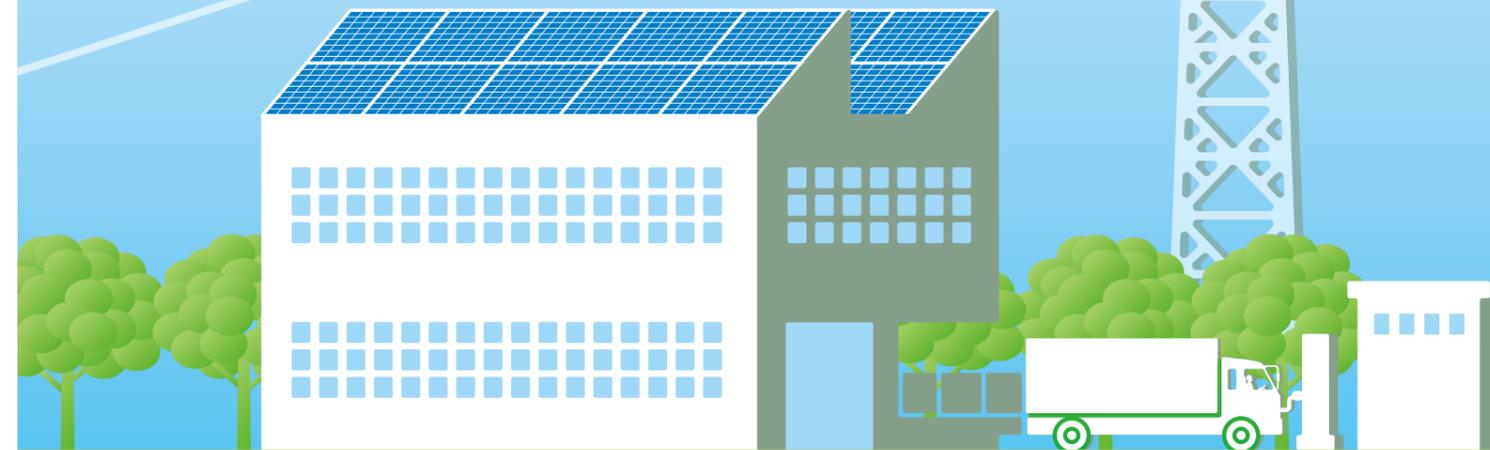
電気代削減

CO<sub>2</sub>排出量削減

ESG・SDGs対策



太陽光発電が、すべての企業の“あたりまえ”に。



いちサラリーマンが「太陽光で世界を変えてやる」なんておかしいですか？



お客様ご相談窓口

 **0120-33-1139** 【営業時間】 9:00~18:00(土日祝休み)

太陽光発電のことなら、XSOL(エクソル)へ。  
まずはお気軽にご相談ください。

公式サイトにて最新情報を掲載中  
[www.xsol.co.jp](http://www.xsol.co.jp)



## 株式会社エクソル

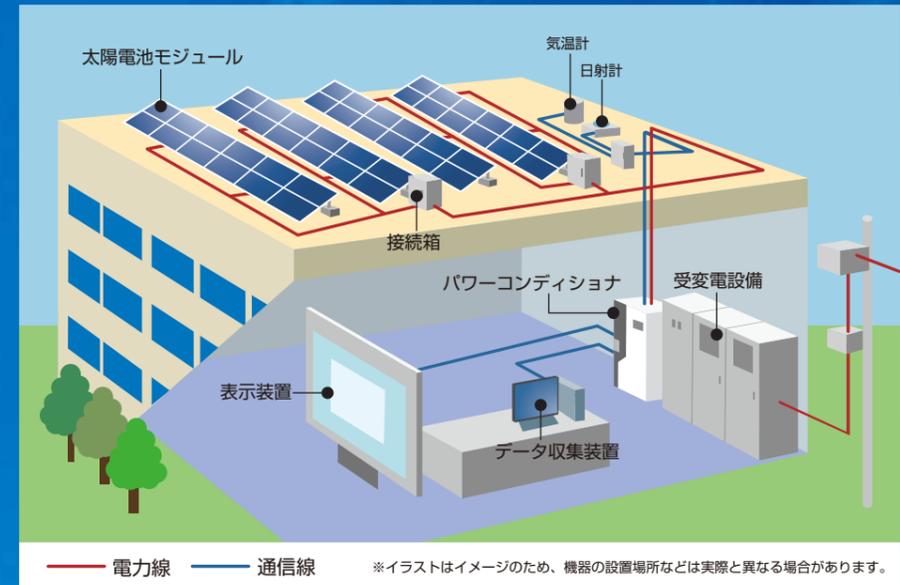
- 京都本社 〒604-8152 京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659烏丸中央ビル8階
- 東京本社 〒105-0012 東京都港区芝大門2-4-8 JDBビル5階
- 関東支店 〒105-0012 東京都港区芝大門2-4-8 JDBビル4階
- 中部支店 〒460-0003 名古屋市中区錦1-5-13 オリックス名古屋錦ビル6階
- 関西支店 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-1-3 SORA新大阪21 19階
- 北日本支店 札幌営業所 〒060-0806 札幌市北区北6条西1-3-8 38山京ビル4階
- 北日本支店 仙台営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-1-1 三井生命仙台北町ビル(アジュール仙台)16階
- 西日本支店 岡山営業所 〒700-0907 岡山市北区下石井 2-2-5 ニッセイ岡山スクエアビル2階
- 西日本支店 福岡営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-4-1 博多駅前第一生命ビルディング2階

# 太陽光発電は「経営課題」解決のためのソリューションです

電力コストやCO<sub>2</sub>排出量の削減は、今や事業に影響する重要な経営課題です。加えて、SDGsやESG投資の世界的な潮流への対応も企業に求められはじめています。自家消費型太陽光発電システムで自家発電を行うことは、これらの課題への解決策となります。

エクソルではお客様の課題をお伺いし、最適なシステムをご提案いたします。

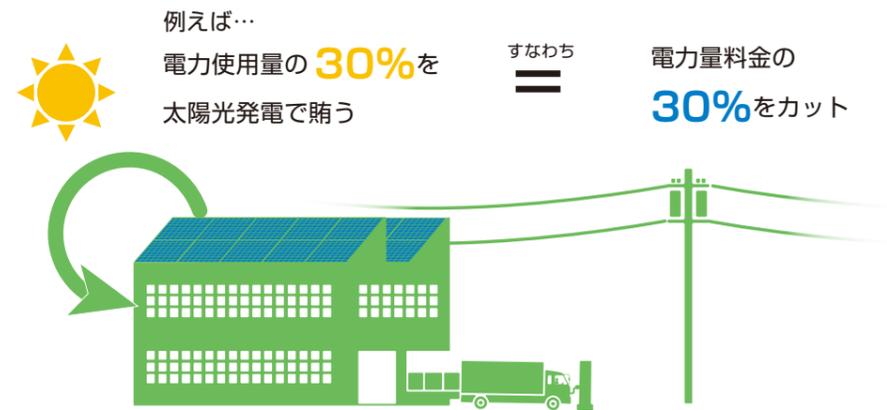
自家消費型太陽光発電システムの概要



太陽光発電システムは、太陽の光エネルギーを受けて太陽電池モジュールが発電するシステムです。つくられた電気は建物内で使用することができます。

## ①電力コストの削減 ▶▶ 4 ページ

太陽光発電システムで、事業にかかる電力コストを削減します。



## ②企業価値の向上 ▶▶ 6 ページ

持続的成長につながるESGやSDGsへの取り組みや、RE100加盟企業とのつながりにも、太陽光発電はマストアイテムです。

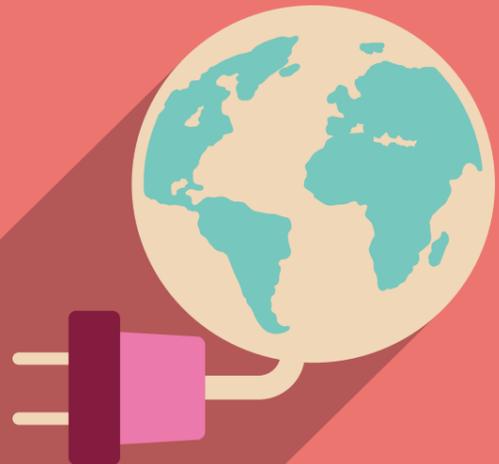


## ③環境価値の創出 ▶▶ 8 ページ

太陽光発電システムの導入で、CO<sub>2</sub>排出量を削減できます。将来的な法規制への準備や、企業ブランド力強化などのメリットがあります。



## 太陽光発電の3つのメリット



## 為替や国際情勢に 左右されない電力を使うという選択

電力コストの変動対策が企業活動の課題に



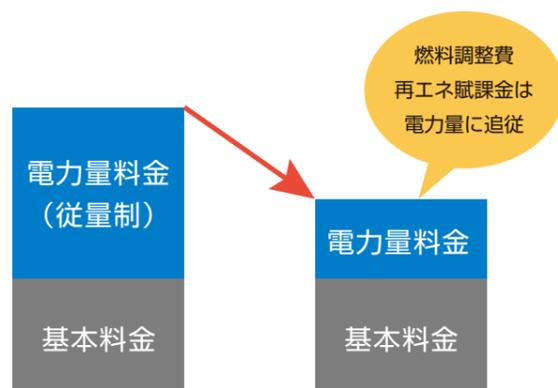
企業の払う電気代は、①基本料金、②電力量料金、③再エネ賦課金、④燃料調整費の4つから構成されています。

このうち、FIT制度の費用負担のための再エネ賦課金が2030年までにあと1円/kWh程度上昇すると想定されており、また燃料調整費は原油価格や為替などの要因によって毎月変動していきます。

電力会社からの電力購入は、コスト変動のリスクを含んでいるのです。

### 設置するだけで、電力コストをカット

太陽光発電は燃料代も発生せず、太陽光で発電した電気を企業内で利用できるため、設置していただくだけで電力の購入量(電力量料金)を削減できます。再エネ賦課金、燃料調整費は電力の購入量と連動するため、購入量が減ることで費用も抑えられます。



太陽光発電で電力量料金をカット

### 電気は「買う」よりも「創る」ほうが安い

近年、太陽光発電の設置コストは劇的に減少しています。20年間使い続けた場合の生涯発電コスト<sup>※1</sup>は、電力を購入し続けた場合の価格を下回っています。太陽光発電を導入することは、先に「安い電気をまとめて買う」と同等なのです。また今後の政策で、カーボンプライシング<sup>※2</sup>などが導入された場合のリスク対策にもなります。

※1 太陽光発電システムを導入し、20年間稼働し続けた場合にかかるコスト。システム費用のほか、メンテナンスや機器交換費用を含む。 ※2 化石燃料の使用に伴う二酸化炭素排出量に応じて課税する「炭素税」や、二酸化炭素の排出超過分や不足分を国同士や企業間で取引する「排出量取引制度」などの総称。



設置しない企業と設置した企業のコスト比較イメージ

### 提案事例 ～お客様の事業に合わせ、ご提案いたします～

#### 製造工場への設置例



##### 概要

地域： 滋賀県  
設備内容： タイル製造工場  
契約電力： 600kW  
契約種別： 高圧電力 第2種  
プランB  
年間電気代： 2,300万円

太陽光発電設置容量： 138kW (AC)  
年間電力料金削減額： 355万円  
発電コスト<sup>※3</sup>： 10.33円 / kWh



#### 小売店舗への設置例



##### 概要

地域： 岐阜県  
設備内容： 大型書店  
契約電力： 240kW  
契約種別： 業務用ウィーク  
エンドプランB  
年間電気代： 910万円

太陽光発電設置容量： 120kW (AC)  
年間電力料金削減額： 260万円  
発電コスト<sup>※3</sup>： 10.76円 / kWh



※3 メンテナンスや機器交換を含む20年間の生涯発電コスト

# 電力コスト削減



# ESG を背景としたビジネスチャンスと 将来的な経営リスクの回避

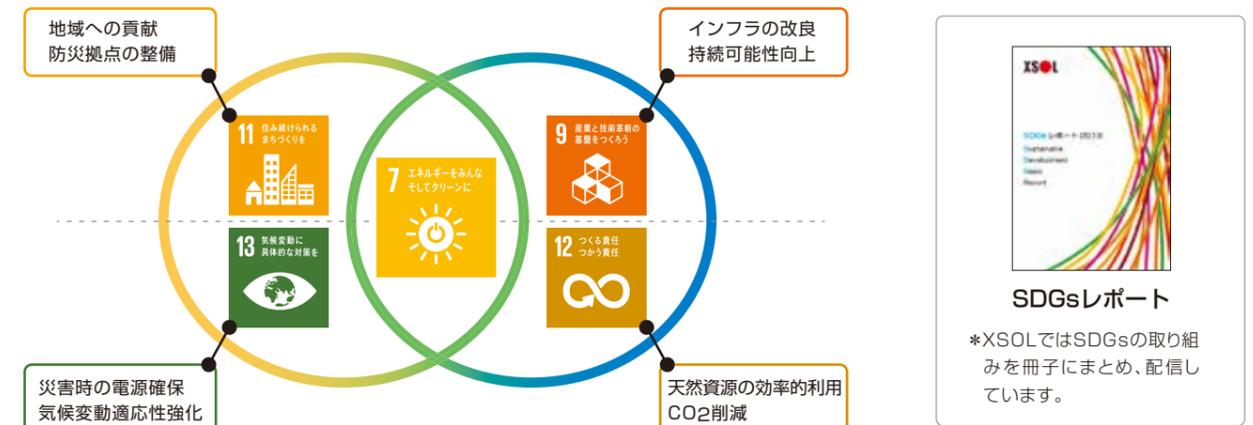
## 投資家が迫るESG経営

ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の頭文字を取ったものです。「非財務部分」であるESGを重視することは、リスクを回避し、長期にわたる安定した経営を行う上で必要とされ、投資家の重要な投資方針となっています。さらに、ESGを重視する企業はリスク回避の観点から、同様の方針を持つ企業をパートナーに選び始めています。



## SDGsでビジネスチャンスをつかむ

ESG経営の具体的な取り組みを共通言語化したものがSDGs(持続可能な開発目標)です。投資家やESGに取り組む企業は、SDGsを意思決定の判断材料とするため、一部の企業ではSDGsレポートなどを作成し対外的に取り組みを発信しています。太陽光発電の導入は、クリーンなエネルギーの導入という意味に限らず、以下のようなSDGsが掲げる目標を達成することにつながります。



## 太陽光発電の導入でRE100企業とのパートナーシップや顧客獲得

ESGを重視する企業の中でも、RE100に加盟する企業は再生可能エネルギーの積極的な導入に取り組み始めています。中には自社だけでなく、サプライチェーン全体での再エネ100%を目指す場合もあり、サプライチェーンを構成するすべての企業は、再エネを導入する必然性に迫られることになります。再エネ導入を取引企業への必須条件として提示するケースも増えていきます。裏を返せばこれはビジネスチャンスです。積極的に再エネの導入を進める企業は、新たな顧客やパートナー獲得につながるのです。



# 企業価値の向上

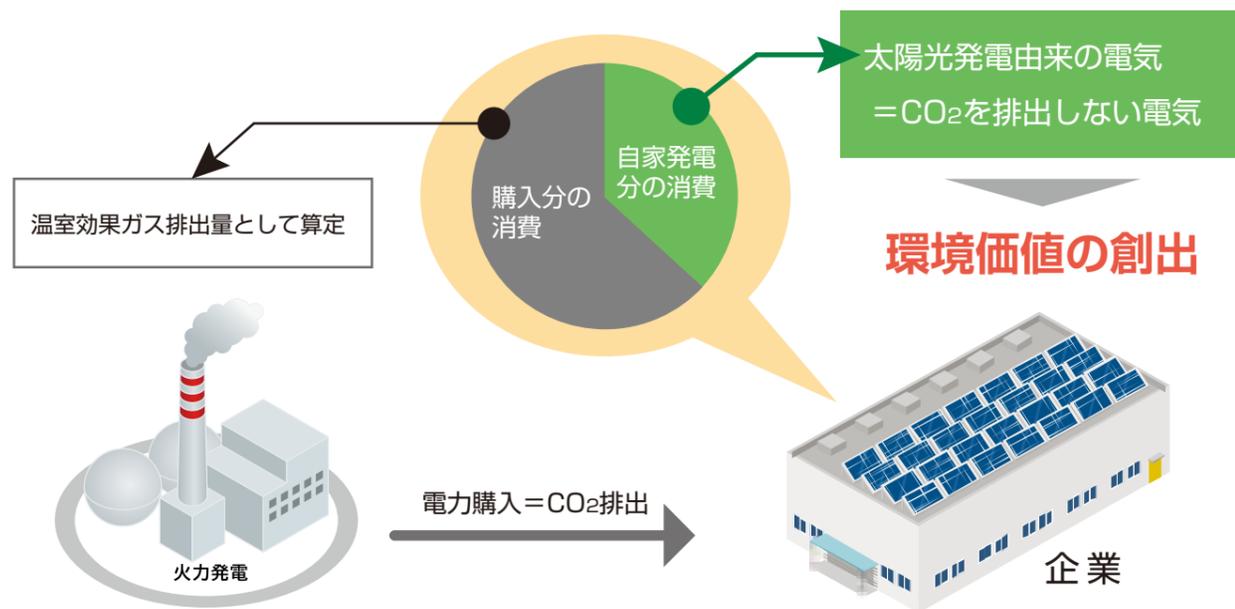


# 太陽光発電でCO<sub>2</sub>フリーという価値を手に入れる

## 太陽光発電の導入でCO<sub>2</sub>排出量を削減

電力会社から購入する火力発電による電気は、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しています。企業は購入する電力量に応じて、この発電にかかるCO<sub>2</sub>を排出したとみなされます。

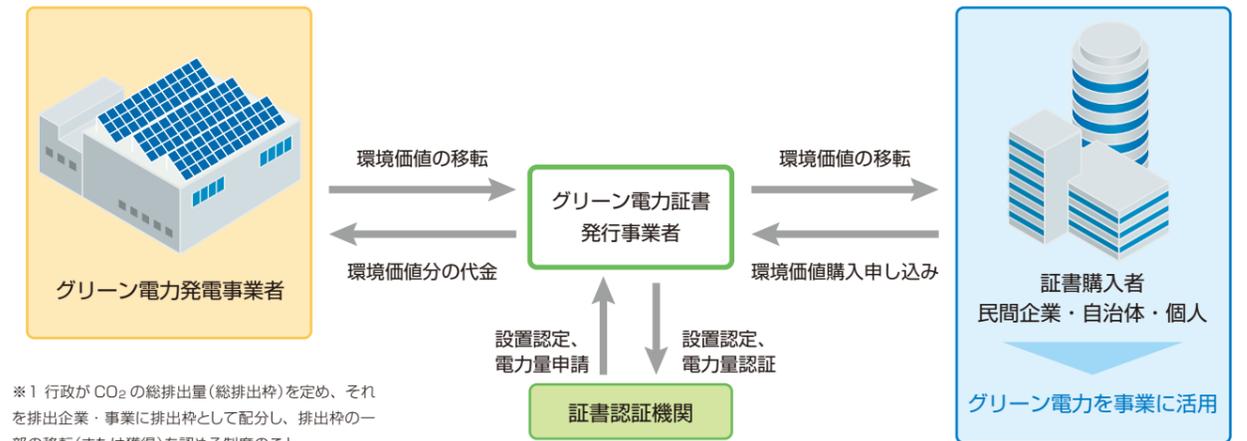
一方、太陽光発電は発電する過程においてCO<sub>2</sub>を排出しません。そのため、購入する電気に代わり太陽光発電の電気を使うことで、CO<sub>2</sub>の排出量を削減することができます。このCO<sub>2</sub>の排出量を削減できる価値を「環境価値」と呼びます。



## 環境価値の証書化

太陽光発電による自家消費分の環境価値は、証書化し、販売することもできます。代表的な証書にはグリーン電力証書があり、東京都のキャップ・アンド・トレード制度<sup>※1</sup>などに利用されています。

エクソルは太陽光発電システムとともに、環境価値の証書化に必要な計量システムもご提案させていただきます。



※1 行政がCO<sub>2</sub>の総排出量(総排出枠)を定め、それを排出企業・事業に排出枠として配分し、排出枠の一部の移転(または獲得)を認める制度のこと。

## CO<sub>2</sub>の排出量を削減することによるメリット

気候変動への世界的な問題意識の高まりを受け、環境対策は事業に直結する課題となっています。法人・個人問わず注目される中、太陽光発電の導入でCO<sub>2</sub>排出量を削減することには次のようなメリットがあります。

### ①法人顧客への訴求力強化

企業は自社だけではなく、サプライチェーン全体における環境対策が求められています。CO<sub>2</sub>排出量の少ない事業運営を行うことで、環境負荷削減に取り組む企業への訴求力を高めることができます。



### ②ブランド価値の向上

製造過程におけるCO<sub>2</sub>排出量削減をアピールすることで、環境や社会を配慮した消費活動を行う「エシカル消費」の潮流に対応し、環境意識の高い消費者に訴求することができます。



### ③カーボンプライシングなど、法規制を先取りした対応

東京都のキャップ・アンド・トレード制度のようなCO<sub>2</sub>排出量削減を義務化する制度設計が全国的に展開されるリスクに対して、事前に積極的な対応をとることで、将来の事業リスクを回避することができます。

# 環境価値の創出

# よくある質問

## Q 導入までどのくらいの期間が必要になりますか？

A 工事期間はシステムの規模によって異なります。通常は契約合意から3～5か月ほどです。電力の一部をFIT制度を利用して売電する場合、50kW未満のシステムならば6か月弱、それ以上の規模であれば1年～1年6か月ほどかかる場合もあります。

## Q 築年数に制限はありますか？

A 築年数での制限はありません。  
しかし、屋根が著しく老朽化している(サビ、穴あき、地金の劣化、破損など)場合は、屋根の葺き替えが必要になる場合があります。  
右の写真のようにサビが発生している場合は設置ができません。



サビにより設置できない屋根

## Q どんな場所にも設置できますか？

A 屋根の形状が曲面の場合は施工が困難です。  
施工が可能な場合でも、設置コストが高くなります。  
また、海に近く海水が太陽電池モジュールに直接かかる場合も、設置できない場合があります。



形状が曲面になっている屋根

## Q 屋根以外の場所を活用することはできますか？

A 工場やオフィスの敷地内など、太陽光発電の電気を利用する施設が隣接していれば、地上設置にも対応いたします。

## Q 建物に負担はかからないでしょうか？ また屋根に穴をあける場合、雨漏りは大丈夫でしょうか？

A 太陽電池モジュールの種類によって多少異なりますが、システム1kW当たりの重さはおおよそ60kgほどです。重さは一点に集中するわけではなく、屋根全体に敷きつめるため荷重は分散され、大きな負担にはなりません。契約前には現地調査も行いますので、ご心配な点がございましたら営業担当までご相談ください。  
穴あけに関しては、しっかりとコーティング処理を行います。また、穴を空けない施工方法もご用意しておりますので、こちらも事前にご相談ください。

## Q 税制優遇等がありますか？

A 固定資産税の軽減や即時償却等が活用できる場合があります。  
年度によって税制優遇の制度は変わりますので、詳細は税理士にご相談ください。

## Q 非常時(停電時)はどのように太陽光発電を利用できますか？

A 太陽光発電システム設置の際に「自立運転出力用コンセント」を設置すれば、そのコンセントから一般的な家電製品(テレビ、ラジオなど)への電力供給や、通信機器(スマートフォンなど)への充電ができます。



太陽光発電の電気をパソコン、テレビ、携帯端末の充電などにご利用いただけます(日中のみ)

## Q 以前太陽光発電の導入を検討した際、電力会社から「系統空き容量がありません」と言われ、導入を断念したのですが…

A 電気を系統網に流す「逆潮流(売電)」ができないためです。逆潮流をせずに、発電した電気を全て施設内で使用する場合は、問題なくシステムを設置いただけます。

## Q 設置後のメンテナンスはどうなりますか？

A 年に1回以上のメンテナンスをお勧めしています。エクソルでは、定期点検、駆付け・遠隔監視、修理といったメニューを、お客様のニーズにあわせてカスタマイズいたしますので、ぜひご相談ください。

エクソル公式サイトでは、設置事例や事業者様のインタビューを掲載しています



トクデン株式会社 様

設置容量:323.3kW  
設置場所:滋賀県高島市



株式会社鈴廣蒲鉾 様

設置容量:38.4kW  
設置場所:神奈川県小田原市

